

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-110	24-091	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)		
Alcohol and mortality in Mexico: prospective study of 150000 adults メキシコにおけるアルコールと死亡率：成人 15 万人を対象とした前向き研究		
執筆者		
Trichia E, Alegre-Díaz J, Aguilar-Ramirez D, Ramirez-Reyes R, Garcilazo-Ávila A, González-Carballo C, Bragg F, Friedrichs LG, Herrington WG, Holland L, Torres J, Wade R, Collins R, Peto R, Berumen J, Tapia-Conyer R, Kuri-Morales P, Emberson JR.		
掲載誌		
Lancet Public Health. 2024 Nov;9(11):e907-e915. doi: 10.1016/S2468-2667(24)00228-7.		
キーワード	PMID	
アルコール摂取、死亡率、メキシコ、前向き研究、肝疾患	39486906	
要 旨		
<p><b>背景：</b>アルコール摂取は世界的に早期死亡の主要な原因であるが、メキシコでは大規模な前向きな研究によるエビデンスはない。</p> <p><b>方法：</b>Mexico City Prospective Study は 1998～2004 年に 35 歳以上の成人 15 万人を登録し、2022 年 10 月まで原因別死亡を追跡した。慢性疾患のない者を対象に、ベースラインのアルコール摂取量（非飲酒、以前の飲酒者、時々飲む、定期的飲酒：摂取量別）と 35～74 歳の総死亡率およびアルコール関連死との関連を Cox 回帰で検討した。過度飲酒（1 回に男性 5 杯・女性 4 杯以上）および飲酒種類も評価した。</p> <p><b>結果：</b>138,413 人の参加者のうち、21,136 人（15%）が常用飲酒者であり（男性 14,863 人 [33%]、女性 6273 人 [7%]）、そのうち 13,383 人（63%）が蒸留酒を、6,580 人（31%）がビールを飲んでた。追跡期間中に 13,889 人が死亡し、そのうち 3,067 人がアルコール関連死であった。全体として、死亡率との間に J 字型の関連を認めた。時々飲む人と比較して、210g/週以上の人には全死因死亡率が 43% 高く（率比 [RR] 1.43 [95%CI 1.30-1.56]）、アルコール関連死因による死亡率は約 3 倍であった（RR: 2.77 [2.39-3.20]）。肝疾患による死亡はアルコール摂取と強く関連していた（140g/週以上の常用飲酒者と時々飲む人の比較 RR:4.03 (3.36-4.83)）。時々飲む人と比較して、時折の過度飲酒はアルコール関連死亡率が 20% 高く（RR:1.20 [1.06-1.35]）、定期的な過度飲酒はアルコール関連死亡率が 89% 高かった（RR: 1.89 [1.67-2.15]）。蒸留酒よりアルコール度数の高い飲料は、摂取した総アルコール量を調整後でも、死亡リスクの上昇と関連していた。</p> <p><b>結論：</b>高アルコール摂取、過度飲酒、アルコール度数の高い飲料は、メキシコ人において死亡率の上昇と明確に関連していた。</p>		